

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>

しまね
いまいまねっと 11 2013 月号

“NPO法人の設立をお考えの方” & “団体にスタッフを雇用している方”のための

参加無料

NPO実務者研修 2講座 開催!



NPO法人の設立を考えている方や、すでに法人格を持っているけれど、NPO法人についても聞いてみたいという方のための「NPO入門講座」と、職員を雇用している団体の方を対象とした「労務管理セミナー」の2講座を開催します。 同日・同会場で開催します。

NPO入門講座

そもそもNPO法人とは、どのような法人？
法人になるメリットは？運営はどうやっているの？
など、分かりやすく解説します！すでに法人化しているけれど、本当に今の法人が活動に合っているのか不安・・・という方もぜひ！

内容

講義 「NPOのはじめの一步」 10:00~12:30

講師 中野 俊雄 氏 (行政書士・当財団専門相談員)

- ・NPO法人とは？
- ・NPO法人になるために必要な手続き
- ・NPO法人のメリット・デメリット
- ・NPO法人の運営に必要なこと
- ・最近の「法人」事情

対象 NPO法人の設立等をお考えの方、すでに法人格を持っているけれど、他の法人についても聞いてみたいという方、その他NPO法人に興味のある方

松江会場

12月17日(火)

松江市市民活動センター401 研修室

- ・NPO入門講座 10:00~12:30
- ・労務管理セミナー 14:00~16:00
- 個別相談(労務) 16:00~16:30

労務管理セミナー

今年4月に改正された労働関係法令について、また労務担当者や雇用者が押さえておきたい最新情報とポイントを学びます。職員を雇用している団体の皆さんは、この機会にぜひ受講を！個別相談もあります。

内容

講義 「最近の法改正をふまえて」 14:00~16:00

講師 村松 文治 氏

(特定社会保険労務士・当財団専門相談員)

- ・今年度変わった法改正情報
- ・労災の特別加入
- ・労務トラブル事例
- ・就業規則からみる労務管理

個別相談 16:00~16:30

10分×3団体を想定していますが状況に応じて変更になる可能性があります。

対象 NPO・ボランティア活動に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。

大田会場

12月18日(水)

あすてらす 研修室1

- ・NPO入門講座 10:00~12:30
- ・労務管理セミナー 14:00~16:00
- 個別相談(労務) 16:00~16:30

お問い合わせ

(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 TEL 0852-28-0690 (内田・原田)



助成金情報

独立行政法人国立青少年教育振興機構
平成26年度 子どもゆめ基金
体験活動・読書活動共通
期 ~ 12 / 5 (木)

子どもの健全な育成を図ることを目的にした、子どもを対象とする自然体験や科学体験、社会奉仕体験や職場体験等の体験活動や、読み聞かせ会や読書会等の読書活動、またフォーラム等の普及活動や指導者養成など、子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動に対する助成です。
対 当該団体自らが主催し、子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む団体。 **金** 活動規模により限度額が異なります。市町村規模:限度額100万円、都道府県規模:限度額200万円、全国規模:限度額600万円
問 独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課
 フリーダイヤル:0120-579081(携帯電話も可)
<http://yumekikin.niye.go.jp/>

平成26年度
しまね文化ファンド助成
期 ~ 12 / 20 (金)

申請団体が自ら企画・実施する、先駆的、模範的、実験的、創造的な文化事業で、一般に公開し行われるもので、文芸、美術、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、地域文化学習、文化財、民俗芸能、伝統工芸、文化を主軸とした国際交流やまちづくりなどの活動を対象にした助成です。 **対** 主に島根県内の民間団体もしくは個人。 **金** 10万円~(助成額は対象経費の1/2以内)
問 公益信託しまね文化ファンド事務局 Tel:0852-22-5500
http://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/shinkou/jyosei_jigyo/bunkafund/

平成25年度 神々の国しまね
実行委員会
“「しまね」の魅力再発見” 事業助成金
期 ~ 2 / 28 (金)

古事記、日本書紀、出雲国風土記、万葉集など、「しまね」の歴史文化を題材とした県民向けの研修会や観光資源活用方法についての検討会などを対象とした助成です。 **対** 市町村、県内に事業の拠点を有する法人、法人格を持たない民間団体が要件を備えているもの。 **金** 上限10万円
問 【東部】神々の国しまね実行委員会事務局 Tel:0852-22-6672
 【西部】西部県民センター商工労政事務所商工労政グループ Tel:0855-29-5647
 【隠岐】隠岐支庁県民局地域振興観光グループ Tel:08512-2-9610
<http://www.pref.shimane.lg.jp/kanko/kamigami/H25jyoseijigyo.html>



イベント情報

まちネット市民農園体験教室
日 12 / 7 (土) 3 / 8 (土)
時 10:00~11:30

土づくりから季節の種・苗の植え方や育て方、収穫時期の見分け方など実際の畑で体験します。講師:渡部 旭 氏。用意するもの:汚れても良い服装、手袋、帽子、タオル、水筒等
場 大庭空山まちネット市民農園(松江市大庭町1658-2)
費 無料(教材材料・保険料を含む)
問 NPO法人まちづくりネットワーク島根 Tel:0852-20-1821
<http://www.machi-s.com/>

“はにわ” ざんまい
~見返りの鹿を満喫できる日~
日 12 / 1 (日)
時 13:30~15:00

風土記の丘で一番人気「見返りの鹿埴輪」をはじめ、石屋古墳から出土した国内最古の人物埴輪群など、ここでしか見ることでできない“はにわ”を、じっくりと味わうことができる特別な一日です。エピソード満載の展示ガイドはもちろん、ふだんはできない、埴輪をさわったり、一緒に写真撮影できるコーナーもあります。このまたとない機会を、ぜひお見逃しなく!
場 集合・解散:風土記の丘展示学習館(松江市大庭町456) **費** 500円 **定** 10名
問 島根県立八雲立つ風土記の丘 Tel:0852-23-2485
<http://machi-arukibiyori.com/haniwa>

アイコンの説明

日 日にち **時** 時間 **場** 場所 **定** 定員 **費** 費用 **主** 主催 **期** 期日 **金** 助成金額 **対** 対象 **問** 問合せ先



「^{うさぎ} 鶺鴒げんきな会」が審査委員長賞を受賞!

オーライ!ニッポン大賞

しまね田舎ツーリズムの実践団体の一つ、鶺鴒げんきな会(出雲市)が、第11回オーライ!ニッポン大賞(オーライ!ニッポン会議、農林水産省主催)の審査委員長賞に選ばれました!同賞は都市と農山漁村の共生・対流の拡大に貢献した団体等に贈られる賞で、全国から91件の応募がある中、見事、グランプリ、大賞に続く第三席の賞に輝きました。同会は、限界集落の再生に向け、空き家を活用した体験宿泊施設の整備や、都市と結んだ交流プログラムの開発、まちづくり講座の開催、天然塩の開発等、地域資源を活用した取り組みを展開。これらにより、人口約240人の鶺鴒地区へのU・Iターンが過去4年間で計21人にのぼるなど、目覚ましい実績をあげてきました。今回の受賞を受け、同会の活動が全国に発信されます。過疎地におけるまちづくりの先進事例として、益々注目されそうです。



お知らせ

県民いきいき活動 促進キャンペーン展開中！



知る 共感する 参加する

「県民いきいき活動」とは、地域の清掃活動や子どもの見守り活動など、地域・環境を良くしたり、困っている人を支えたりする、地域を住みやすくするための様々な活動をいいます。

実際にどんな活動が行われているのか、まずはチェック！「島根いきいき広場」には、様々な団体の情報が満載です。



島根いきいき広場 検索

キャンペーン特別企画！いきいき活動写真募集中！

これまでに参加した県民いきいき活動の様子を写真でお送りください。送っていただいた写真の一部は、「島根いきいき広場」のサイトで紹介させていただきます。先着200名様には、特製トートバッグプレゼント！

応募方法：郵送、電子メール
 〆切：12/31(火) 郵送：当日消印有効
 応募先：お問い合わせ
 島根県環境生活部環境生活総務課NPO活動推進室
 〒690-8501 松江市殿町1
 TEL 0852-22-5096
 Eメール npo@pref.shimane.lg.jp



報告



「島根いきいき広場」から 共感の輪を広げるセミナー

開催

10月上旬から下旬にかけて、6会場で「島根いきいき広場」から共感の輪を広げるセミナーを開催しました。セミナーの前半は、日本財団の山田泰久さんをお迎えしインターネットの情報発信について、ホームページ、ブログをはじめ、最近よく聞かれる Facebook やツイッターなどのソーシャルメディアの特徴や具体的な活用方法を教えていただきました。後半は、リニューアルして機能も増え、使いやすくなった「島根いきいき広場」の活用のポイントをお話させていただきました。参加者からは、「島根いきいき広場」をぜひ使ってみたい！という声や、積極的に活用したい！という声を多数いただきました。今回のセミナーでは、参加者のみなさんが実際にパソコン操作をしながら受講することができず、直接入力してみようという時間を持つことはできませんでしたが、操作方法や活用の仕方の相談を常時受け付けていますので、まずはお電話でお問い合わせください。

「島根いきいき広場」

電話相談 受付中！



「島根いきいき広場」に関するご相談を受け付けています。操作方法や活用の仕方など、聞いてみたいことがあれば、気軽にお問い合わせください。

ふるさと島根定住財団 地域活動支援課
 TEL 0852-28-0690 (担当：原田・内田)

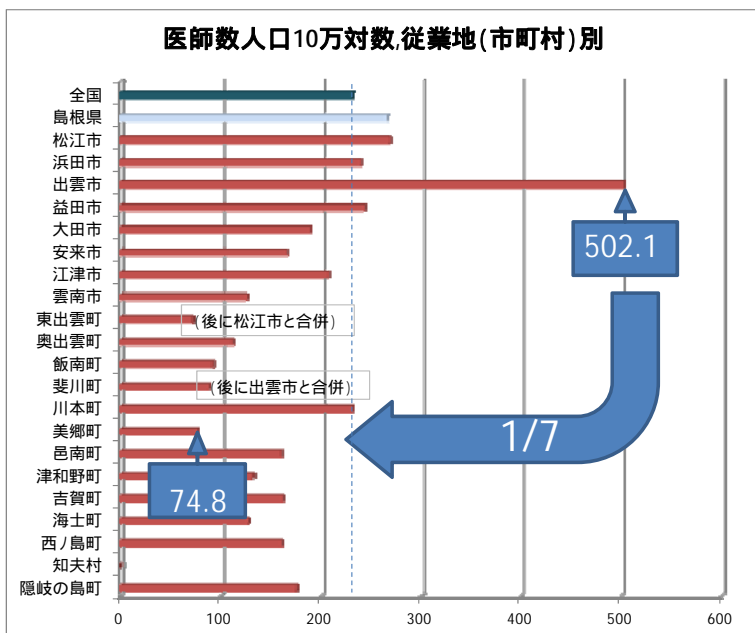
数字から見るしまねの課題

Vol.5

約 1 / 7

= $\frac{\text{美郷町の人口10万人に対する医師の数}}{\text{出雲市の人口10万人に対する医師の数}}$

医師の数と地域間格差



「医師・歯科医師・薬剤師調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)によると、全国の人口10万人に対する医師の数 230.4 に対して、島根県は 264.8 と、全国的にみると恵まれているように思えます。しかし、島根県保健統計書で地域別に見ていくと、美郷町の74.8という医師の数は、一番多い出雲市の 502.1 に比べて、約1/7であり、5市をのぞいては全国平均を下回っている状況にあります。

このように、地域間格差という課題も埋もれており、だからこそ、地域の力をつけて、地域で支えるしくみづくりが大切と言えます。今後も民と官で協働しながら地域のニーズを考慮した解決策を探っていく必要があると言えます。

参考資料：H22年島根県保健統計書「医師・歯科医師・薬剤師調査」

島根で 頑張る人

活動を支えるのは、
地域の人々と交わした会話

農林水産の加工品の製造・販売、体験・交流事業など、多様な事業を展開する隠岐しおさい。共に活動し、今では家族のような地域の人たちを「しおさいファミリー」と岡田さんは呼ぶ。H23年にNPO法人となってもまだ2年、これだけの活動を地元住民と展開できているのはなぜなのでしょう。

H19年に地元へ戻り、中間支援を目的としたNPO設立の準備に事務局として関わることになった時、まずは地域の資源や課題をもっと把握しなければと、1年かけて地域住民に話を聞いて回った。少子高齢化や漁業・農業・産業の衰退…と、課題はハッキリしていた。しかし、他愛もない話をするうちに、今では無くなってしまった地域の伝統や文化の存在が見え、アイデアが湧きあがってきていた。自分のアイデアを地域の人はどう感じるのか、そんな不安を抱きながらも、「こんなことがしたい」と打ち明けた時、驚くほど早く返ってきたのは「やってみよう」という言葉だった。そして始まった事業は、海や山の資源を活かした加工品の製造・販売や、県内・外の人々への体験活動の提供だ。その中でも、「椿曲を使った

製品を製造・販売する事業は、今は途絶えてしまった地域の文化であり産業の一つだ。事業をスタートさせるために、大量に収集しなければならなかった椿の種、地域の人たちの協力がどうしても必要だった。初めは島中を頼みに歩いたが、今では関わっている人の数が把握しきれないほど広がっているという。種の収集を通して地域の人たちとの繋がりができたと嬉しそうに話す高齢者や、「自分たちも関わっている製品だ」と自負や愛着を持つ住民が多くいることは、予想もしなかった嬉しい効果だ。しかし、一つひとつの事業が全てスムーズに進んでいただけではなかった。失敗もあり上手く進まないこともあった。そんな時はいつも、共に活動してきた地域の人々ともう一度話し合い、練り直し、乗り越えてきた。

地域の人々と、短い期間でこれだけの活動を展開できるのは、じっくりと話を聞いたあの1年間と、今も繰り返す地域の人々との「会話」があるからだ。話を通して築かれた地域の人々との関係と、浮かび上がった課題は、活動の原点であり、支えとなっている。NPOにとって活動の原点となる「課題」は、地域にある。そこに暮らす人々との会話は、活動をする上で欠かすことのできない大切な時間なのだ。(Y)



NPO法人隠岐しおさい
代表 岡田 智子 さん

旧西郷町生まれ。有木地区在住。H19年に地元へ戻り、中間支援を目的としたNPO設立の準備に事務局として関わる。地域課題を把握しようと地域を回り、より地域に根差した活動を展開し始めたことをきっかけに H21年に団体の代表となる。H23年には法人格を取得し「NPO法人隠岐しおさい」としてスタートし、現在に至る。

団体の今までの主な活動

定住・交流人口の拡大、観光振興、産業創出、環境保全の4つを柱として、海や山の資源を活かした島暮らし体験や貝殻を使った創作体験のほか、農林水産品の加工・販売や隠岐のこだわり特産品の販売、海と山の環境を守るための植栽や清掃活動など、人と人とのつながりや地域の自立を目指し様々な事業を行う。

スタッフ後記

先日、松江市町内会・自治会連合会および雑賀地区町内会連合会の会長を務めていらっしゃる佐々木武男さんにお話を聞く機会をいただきました。雑賀地区では、H18年に住民を中心に約300名が集まり「雑賀まちづくり推進協議会」が立ち上がり、まちづくりマップの作成や、雑賀の史跡や先人の顕彰碑の建設、足軽くん等のキャラクターの製作や偉人せんべいの製造・販売など、さまざまな活動を展開してきました。佐々木会長がおっしゃった「まちづくり云々と語っているだけでは何も動かない。行政等、人に頼むのではなく、まずは住民自らが行動を起こすことが大事」とおっしゃっていたことがとても印象的でした。(Y)

お知らせ セミナーのご案内

詳細はチラシ
または規団HPで！

NPOマネジメントセミナー

「支援につながる報告書・夢を形にする計画書の作り方」

第1回 浜田会場：2/5(水) 松江会場：2/7(金)

第2回 浜田会場：3/4(火) 松江会場：3/5(水)

寄付つき商品セミナー 2/6(木) 松江会場

[H25.10.31 現在]

県内NPO法人数…267

(内 認定NPO法人数…3、仮認定NPO法人数…2)

新設NPO法人数…2 (H25.10月分)

しまね社会貢献基金登録団体数…56

だんだん認証レベル取得団体数…34 (内 レベル2…24)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所